

【令和3年度障害児者医療研修事業 計画】

※各研修の募集開始時にチラシを掲載します。参加の申込みは、チラシ裏の申込用紙に記入のうえ、FAXまたは郵送でお願いします。
 ※新型コロナウイルス感染症の発生状況により内容の変更や開催を中止する場合があります。

	講演・研修の内容	開催日時	対象者	講師（実習等講師）	開催場所	募集人数
①	発達障害診療研修 地域で発達障害児者に関わる医療従事者に対して、発達障害へのアプローチや援助の方法を提供し、実践に繋げ人材育成を図る。 講義 「発達障害とトラウマ ～理解してつながることから始まる支援～」	7月25日(日) 13:30～16:30	精神科医、小児科医、内科医師等 看護師等コメディカル 保健、福祉、教育等の領域の支援者	総合センター中央病院 小児心療科医長 小野 真樹	ウインクあいち 大会議室	50人
②	精神保健技術研修 「発達障害地域包括支援研修」 国の「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修事業」の一環として実施。発達障害児等のかかりつけ医がどの地域においても一定水準の発達障害の診療、対応を可能とすることを目的とする。 講義 国立精神・神経医療研究センターの指導者研修「発達障害地域包括支援研修」の伝達研修 「青年期以降の発達障害診療研修」	①9月26日(日) 10:00～16:00 ②11月28日(日) 10:00～16:00	小児科医、精神科医、内科医等医師、保健師、看護師、精神保健福祉士、作業療法士、言語聴覚士、理学療法士	総合センター中央病院 児童精神科部長 あいち発達障害者支援センター 副センター長 吉川 徹 総合センター中央病院 医師 高里 文香	刈谷市産業 振興センター	50人
③	感覚統合療法講演会 発達障害のリハビリ、特に感覚統合的な視点からのアプローチの方法を学び、地域で実践できる人材の育成を図る。 講義 ①1回目 「感覚統合療法 初級編」 ②2回目 「感覚統合療法 中級編」	①8月7日(土) 13:30～16:30 ②10月2日(土) 13:30～16:30	県内の障害児通園施設・保育所・幼稚園・小学校・特別支援学校の関係者・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士	総合センター中央病院 作業療法士 小松 則登 渡邊 朱美 松田 祥子	ウインクあいち 大会議室	80人
④	遺伝療育講演会 医療・療育・教育現場の支援者が、個々の疾患特性や行動特性に合わせた支援方法について理解を深める。 講義1「染色体・遺伝性疾患の最近の話題と疾患特性の理解」(仮) 2「染色体・遺伝性疾患があるお子さんに対する作業療法 ～支援の実践について～」(仮) 3「未定」	11月6日(土) 13:30～16:30	障害児者の在宅医療にかかわる医師、看護師、リハビリスタッフ、教員、療育福祉関係者など	総合センター中央病院 副院長 水野 誠司 総合センター中央病院 作業療法士 小松 則登 未定	ウインクあいち 大会議室	50人
⑤	重症心身障害児者医療療育推進講演会 重症心身障害児者が地域で安心して生活できるよう、支援者として必要な知識、情報を提供し、在宅生活・在宅支援の充実を図る。 講演 「重症心身障害児者・医療的ケア児者支援ネットワークについて 県内各地の取り組み」	7月10日(土) 13:30～15:00	重症心身障害児者医療に関わる関係施設職員、教育、療育、福祉関係者等	総合センター中央病院 副院長 三浦清邦 座長 信愛医療療育センター センター長 麻生幸三郎	ウインクあいち 大会議室	50人
⑥	第9回あいち 小児在宅医療研究会 名古屋大学障害児(者)寄付講座との共催 県内の小児期発生の発達障害のある児(者)の在宅医療体制の拡充を図るため、小児在宅医療の関係者が一同に会す「あいち小児在宅医療研究会」を実施することにより、相互に理解を深め小児在宅医療の推進に寄与することを目的とする。 ○テーマ候補「小児在宅を支えるリハビリテーション」 ○基調講演「小児リハビリテーションの過去、現在、未来」 ○シンポジウム「急性期から生活期へ シームレスなリハビリテーション支援を目指して」 ①在宅医療に繋げるNICUでのリハビリテーション(仮題) ②早期集団療育の取り組み(仮題) ③地域医療における言語聴覚士の役割(仮題) ④訪問看護師とリハビリテーション専門職の連携について(仮題)	12月19日(日) 13:00～16:30	県内の病院小児科・新生児科・救急担当科等の勤務医、小児在宅医療に関心のある診療所医師、看護師(総合病院関係診療科、訪問看護ステーション、特別支援学校、福祉施設、介護事業所等に勤務する看護師)、理学療法士、作業療法士、教員、研究者、療育福祉関係者など	基調講演 国立長寿医療研究センター 副院長 近藤 和泉 シンポジウム ①名古屋大学医学部附属病院 医療技術部リハビリテーション部門 西川 貴久子 ②株式会社ジェネラス 金子 満寛 ③終訪問看護ステーション 堀田 真弥 ④訪問看護ステーション豆大ふく 西山 亜紀	名古屋大学	130人
⑦	重症心身障害児者 関係施設等支援者研修 「食べるコース」 重症心身障害児者への理解を深め、食べることに焦点を当て食事支援について学び介助技術の向上を支援する。 講義「未定」 講義「未定」 講義「未定」 講義「未定」	9月11日(土) 10:00～15:10	重症心身障害児者医療支援に関わる関係施設職員、教育(特別支援学校教諭等)、療育、福祉関係者など	総合センター中央病院 未定	総合センター	30人
⑧	重症心身障害児者 関係施設等支援者研修 「日常ケアコース」 重症心身障害児者の支援に関わる関係者が重症心身障害児者の日常ケアを考える機会とし、地域で生活する重症心身障害児者に安全、安心な支援ができるよう知識・技術の向上を支援する。 講義「ノーリフティングケア(仮)」 「腰痛予防(仮)」 「褥瘡・皮膚トラブルのケア(仮)」	10月16日(土) 13:45～17:00	重症心身障害児者医療支援に関わる関係施設職員、教育(特別支援学校教諭等)、療育、福祉関係者など	総合センター中央病院 重症心身障害看護師 堀江 邦子 整形外科医師 門野 泉 皮膚・排泄ケア認定看護師 木村 智靖	総合センター	30人
⑨	重症心身障害児者の 呼吸ケア研修 重症心身障害児者の医療を行う上で、呼吸ケアの知識・技術が必要となるため、呼吸障害の病態生理とそれらに対する治療法や対処法を学ぶことで、理解を深めスキルアップを図る。 講義 「呼吸障害の病態と内科的管理法 ～長期的視点と医療機器の役割～」 「生活の質をあげる呼吸理学療法 ～本人・介助者が共に楽になる支援方法のヒント～」 「呼吸障害に対する外科治療 ～気管切開術、気管喉頭分離術とその注意点～」 「呼吸の原点としての口腔管理と口腔ケア ～口腔病態と口腔ケアのポイント～」	①令和2年度振替 6月20日(日) 10:00～15:10 ②令和4年 2月27日(日) 10:00～15:10	障害児者医療・在宅医療に関わる医師、看護師、訓練士	総合センター中央病院 小児神経科医師 山田 桂太郎 理学療法士 栗林 健 小児外科医師 田中 修一 歯科医師 加藤 篤	総合センター	①30人 ②30人
⑩	重症心身障害児者 看護実践研修 医療依存度の高い重症心身障害児者の支援に必要な看護技術のスキルアップを図る。 講義 ①「重症心身障害児者の呼吸ケア ～気管切開、排痰、人工呼吸器の管理など～」 ②③「呼吸障害を起こす理由と看護ケアのポイント」 見学・実習 「呼吸、排痰介助、吸引、経管栄養、入浴介助、口腔ケア、人工呼吸器の取扱、カフアシストの説明及び使用場面の見学、カニューレ交換、胃瘻交換の見学等」	①8月25日(水) ②8月26日(木) ③8月27日(金) 10:00～16:00 のいずれか1日	重症心身障害児者支援に関わる看護師	総合センター中央病院 ①看護師 安江 昌子 ②③小児神経科医師 山田 桂太郎	総合センター	18人 (各日6人)